

お客様 各位

パナソニックSNエバリュエーションテクノロジー株式会社  
評価試験サービス部

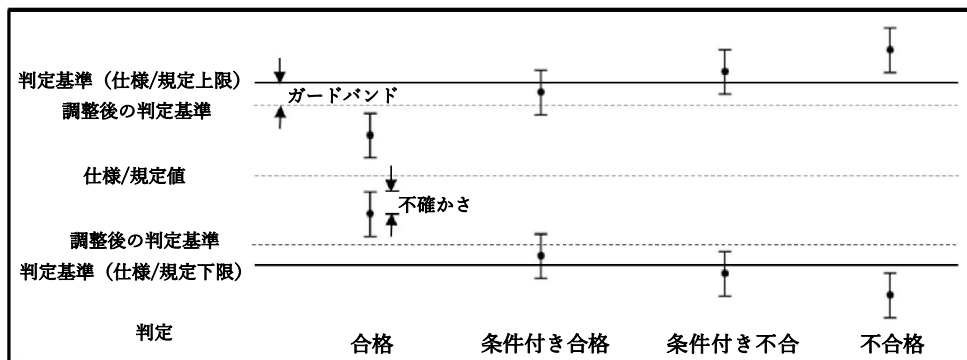
## A2LA 認定校正における適合判定ルールのお知らせ

謹啓 貴社いよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当社の校正サービスをご利用いただきまして誠にありがとうございます。従来、当社 A2LA 認定校正 (ISO/IEC 17025) にて校正結果の合否判定 (適合判定) を希望される場合、適合判定基準に測定の不確かさを考慮しない (校正値と許容値の直接比較のみ) ことを選択可能としておりましたが、今後、合否判定リスクを明確にするため、ILAC-G8:09/2019 に従い信頼水準 95% の拡張不確かさをガードバンドとして適合判定することを標準とし、以下の適合判定ルールに改定いたしたくご案内申し上げます。尚、お客様からの特別な要求がある場合には合意した適合判定基準を適用することも可能としておりますので、よろしく願いいたします。

### ① 標準：ガードバンドを不確かさとした合否判定

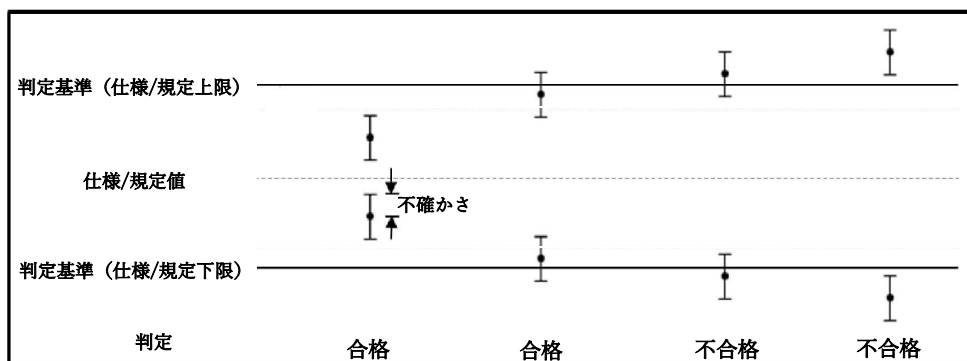
信頼水準 95% の拡張不確かさをガードバンドとして判定基準の調整を行って合否判定します。

\* ガードバンド: 判定基準を仕様/規定値より狭くすることにより判定プロセスに組み込まれる安全係数



### ② 顧客との合意例1：ガードバンドをゼロとした合否判定 (単純受入)

不確かさをを用いた判定基準の調整を行わずに合否判定します。不確かさの大きな校正項目は誤判定リスク高まります。お客様自身で校正証明書に記載の不確かさを考慮していただくことを推奨いたします。



### ③ 顧客との合意例2：ガードバンドを任意に設定して合否判定

判定基準の調整を任意にご指定いただき、合意の上で合否判定します。

今後とも引き続きご愛顧くださいますよう謹んでお願い申し上げます。

敬白

(別紙) 成績書に記載する適合性の表明に関する表記を以下に変更いたします。

## ■改訂前

### 適合性の表明

- 適合判定を行う
- 適合判定を行わない

### 適合判定条件

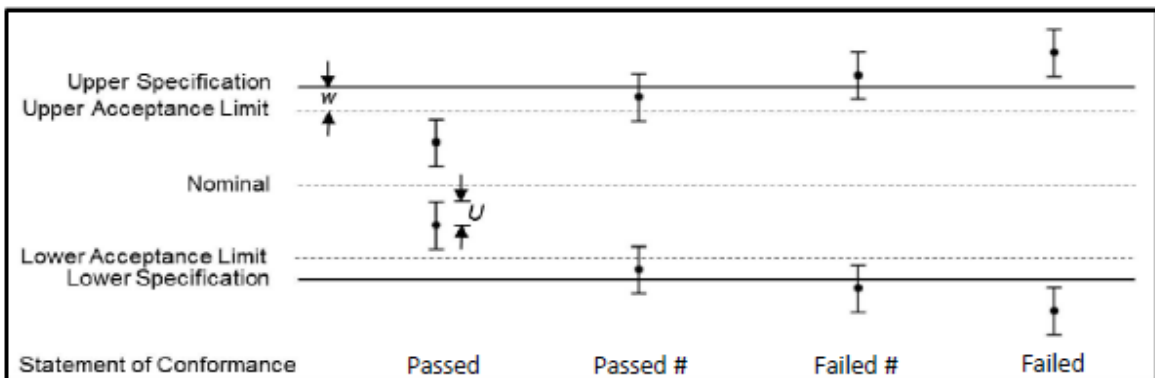
- 不確かさを考慮しない (校正値と許容値の直接比較のみ)
  - Passed : 校正値が許容値に入っている
  - Failed : 校正値が許容値から外れている
- 不確かさを考慮する
  - 適合判定基準
  - Passed : 不確かさを含め、許容値に入っている
  - Passed # : 校正値は許容値に収まっているが、不確かさの一部は許容値から外れている
  - Failed # : 校正値は許容値から外れているが、不確かさの一部は許容値に入っている
  - Failed : 不確かさを含め、許容値から外れている
- 不確かさを考慮する(顧客との特別な合意)
  - 詳細記述 :

## ■改訂後

### 適合性の表明

ILAC-G8:09/2019に従って、不確かさを加味した合否判定を顧客と合意の上で行います。適合判定を行う場合は顧客からの特別な要求を除き、信頼水準95%の拡張不確かさをガードバンドとして判定基準の調整を行い合否判定します。顧客からの特別な要求によりガードバンドの調整を行い合否判定を行うことも可能です。

- 適合判定を行わない
  - 校正値と不確かさを記載し、適合性の判定は行いません
- 適合判定を行う
  - 適合判定基準
  - Passed : 不確かさを含め、許容値に入っている
  - Passed # : 校正値は許容値に入っているが、不確かさの一部が許容値から外れているため、信頼水準95%における判定はできません
  - Failed # : 校正値は許容値から外れているが、不確かさの一部が許容値に入っているため、信頼水準95%における判定はできません
  - Failed : 不確かさを含め、許容値から外れている



用語の説明  $w$ : ガードバンド、 $U$ : 拡張不確かさ(信頼水準95%)

- 顧客との特別な合意
  - 合意内容 :